

編集後記

- ◇ この号では東京都健康安全研究センターの活動を紹介する特集の第2回目として、健康安全研究センターの2007年度研究年報から選定された論文に一部加筆修正した9件の報文を収載しています。それらは感染予防、嗜好品食品安全、環境化学物質安全など市民生活に直接関わりのある様々な健康リスクの評価と管理に必要な科学的な知見や技術の開発や評価であり、都の行政施策と表裏一体となって取り組まれてきた、いわば現場基点の成果であります。
- ◇ この特集の編集を担当する中江氏は前書きにおいて、化学物質や感染症の脅威から人々を守り、安寧な社会生活を保障するために必要なことは、『誰かが誰かにしてあげるのを傍観するのではなく、すべてのステークホルダーが近視眼的な利害や蒙昧に左右されず連携し、冷静かつ客観的な態度で、科学的に裏打ちされた対応をとることが死活的に重要である。』と述べております。この分野に携わるすべての関係者はこのことを肝に銘じ、日々の活動において様々なリスク問題に客観的かつ科学的な対応を目指したいものです。(Y. H.)